

SG講演会⑤－2

日 時 平成28年5月25日（水）5校時（14：25～15：30）後半

場 所 丸亀高校 第2体育館

対 象 丸亀高校 1年生279名、教員16名

講 師 臼杵 尚志 氏（香川大学医学部附属病院手術部 教授）

演 題 「医学・医療からの地方創生」

内容等

「医学」とは病気の原因や治療法などを研究する「学問」であり、「元気でいる事」という最も基本的な幸せの要件に深く関わっていること、薬学や工学、物理学など広い分野の多くの研究に支えられている医学の発展は、他の科学分野に「課題」（例えば、良い薬や医療機器が欲しい）を提示することで、産業につながる可能性を持っていることは、生徒に医学を志す気持ちを強くするとともに、医学により産業が興り、資金や人が集まって地域が活性化していくことを気づかせてくれたようだ。また、他の分野の研究から医療に関わる



という気持ちを強くした生徒も見られた。

「医療」とは、病気やけがを治す「行為」であり、地域医療の充実とは、衣食住の環境と同様、地域に人が安心して住むために必須なことである。また、「医療」では、医学の進歩・細分化のためより多くの人が必要になっており、さらに病院の建築なども考慮すると、「医療」は非常に多くの雇用を生むことに、生徒は、医療が地方創生に大きく貢献していることを理解した。



生徒の主な感想

- ・医学とは何か、医療とは何かがよく分かった。
- ・医療従事者の種類の多さにびっくりした。
- ・医療はいろいろなものに支えられていると思った。
- ・医学が他の分野に発信していき、お互いに進化していることがすごいと思った。
- ・医学の進歩は、薬学などいろいろな分野の成果に支えられて成り立っていることが分かった。
- ・医学は総合的な分野だと思った。
- ・医療は私たちの生活に欠かせないものだと思う。
- ・医療は、人の健康という面以外に雇用や技術発展に深い関わりがあることが分かった。
- ・人のニーズが様々なものを発展させてきたことが分かった。
- ・医療・医学と聞くと「医者」という単語をまず思い浮かべたが、その背景には多くの職業がある。
- ・地方創成に、医学と医療による安心な町づくりをすることが大切なのだと分かった。
- ・医療が充実することで、人々の生活が豊かになることが分かった。
- ・医療は人々の雇用を増やす。また、地域の人々が安心して暮らすために医療は欠かせない。
- ・人が幸せになりたいと思う根本的なところに医療があるとことはなるほどと思った。
- ・「元気なことは幸せの源である」という言葉が心に残った。
- ・人間が元気に生きるために必要なニーズを発信し、他の分野の技術進歩を促すことが地方創生につながっていると分かった。
- ・みんなが健康だと地域も元気になれると思った。
- ・今は、少子高齢化社会になっていて、医療はとてより大切なものになってきていると思う。
- ・「若いエネルギー」「広い見識」「古い形式にとらわれない考え」が必要だと分かった。
- ・医療が行き届かない地域も多い。そういう地域を減らすことも大切だと思う。
- ・医学部についてよく分かった。また、ロボットや機械などの工学部系のことが医学部を支えていることが分かり、工学部への意識が高まった。
- ・私はトレーナーになりたいと思っているが、その仕事が地方創成に役立つなどと考えたことはなかったように思う。どんなことが地方創成に関わっていくのか自分自身で考えてみたい。